

## キャリア教育の取組

### 【目的】

地域・企業の方と連携して授業を組み立てることを通して、児童に日々の学習が将来につながっていることや、学習した内容が生活に結びついていることをより実感化、学習内容の一層の理解・定着等のために行っている。

### 【具体的な取組】

2年生は、生活科「おいでよ、自分につけん発表会」の単元において、自分の生活や成長について振り返り家族に発表する活動を行った。発表前に、FMふくやまのアナウンサーの方を招いて、話し方(発声・言葉に思いを・一番伝えたいことを意識等)について教えていただいた。児童は、学んだことを生かし参観日では堂々と発表することができた。



3年生は、算数科「長さ」の学習において、地域の土地家屋調査士の方を招いて、昨年度に引き続き、巻尺で測る学習をした。巻尺の測り方についても確認をされた後に、「平板測量」体験や、「紙飛行機大会」(飛んだ距離を巻尺で測定)を計画していただき、児童は、難しい課題にも粘り強く取り組んだり、自分の紙飛行機の距離を意欲的に図ったりすることができ、この単元で学んだ力を生かして活用的な学びを行うことができた。



4年生は算数科「面積」の学習において、元福山市役所建設政策課の職員の方を招いて、新市小学校の校舎の歴史、建物の面積や、建てる時の決まり(縮尺・建蔽率)などを教えていただいた。児童は、そのことや算数科で学んだ複合図形の面積の求め方を使って、活用問題(限られた土地の中に家の土台を作る)に取り組んだ。一人一人の児童は、家の土台部分の中に正方形や長方形等で、その広さも考えながら各部屋の間取りや役割も意欲的に考えることができた。



5年生の総合的な学習と国語を関連させた単元の表現する活動で「中国新聞社」の記者の方に来ていただき、新聞の読み方・書き方を学習した。自分の考えをまとめることが求められる際に、5W1Hに気を付けて読んだり書いたりすると分かりやすいことを知り、新聞を読んだことがない児童も新聞に関心を持って取り組んだ。この活動を生かして自分たちで育てたお米づくりのことを紹介したり、調べたことをまとめたりして「お米新聞」を分かりやすいものとして作成することができた。



6年生の総合的な学習の時間「地域の伝統をつたえよう」の活動において、地域でクワイ農家をしている方を招いて、クワイの植え方や収穫の仕方を学んだ。収穫したクワイは、新市の給食センターの方から、クワイの特徴や調理法等を教えていただきクワイチップスや素揚げ調理に楽しく挑戦したり、収穫したクワイの販売体験を行ったりした。

